

フラットモップ除塵機

101 取扱説明書

ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。

このたびは「CONDORフラットモップ除塵機101」
をお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。
この説明書は大切に保管してください。



目次	
安全にお使いいただく為に	1~2
各部の名称と特長	3
ご使用方法	4~5
ごみの捨て方、保守・管理	6
消耗部品	7
故障かな?と思ったら	7~8
仕様及び寸法	9
安全点検のすすめ	9
アフターサービス	9
保証書	10

安全にお使いいただく為に



安全に関するご注意

- 安全にお使いいただくため、ご使用前に下記「注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- この取扱説明書は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

絵表示の例



△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

警告



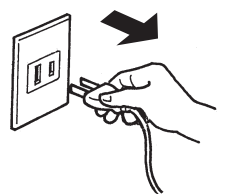
修理技術者以外の人
は、絶対に分解したり
修理は行わないこと。

発火したり、異常動作してけが
をすることがあります。



お手入れの際は必ず差
し込みプラグをコンセ
ントから抜くこと。

感電やけがをすることが
あります。



灯油、ガソリン、シン
ナー、塗料、溶剤など
引火性の近くや雰囲気
中で使用しない。

爆発したり、火災の原因
になります。



アルミニウム・マグネシウム・
チタン・亜鉛や化学物質な
どの爆発性粉じん・ガス・蒸
気の近くや雰囲気中で使用
しない。

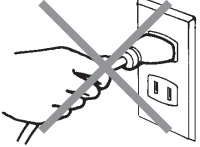
爆発したり、火災の原因に
なります。



水などのかかる場所では絶対に
使用しないこと。

感電やけがをすることがあります。

⚠ 注 意

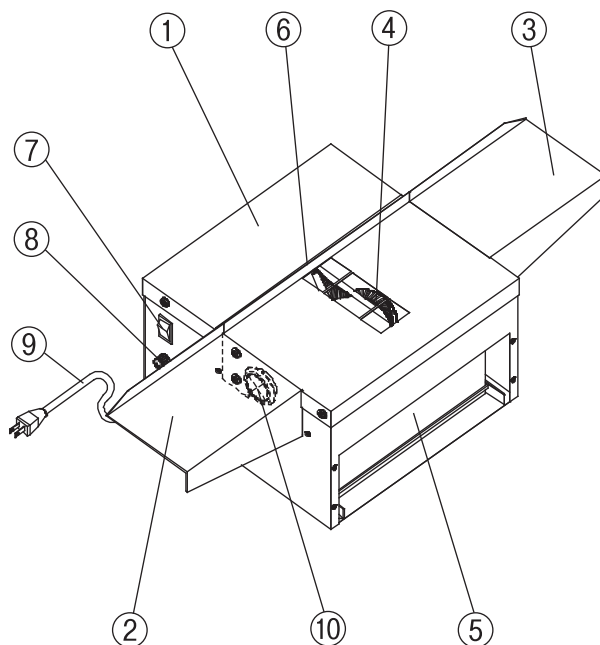
 本来の目的以外の用途に使用しないこと。 火災、故障の原因になります。	 モップ糸長25mm以下のフラットモップを使用すること。 モップ糸が回転ブラシに巻付き、モータ回転がロックされ、モータ故障の原因になります。
 ブラシ回転中、回転部分に手を触れないこと。 けがの原因になります。	 単相交流100V以外では使用しないこと。 火災、感電の原因になります。
 除塵機本体の上に座らないこと。 破損の原因になります。	 火気に近づけないこと。 火災、故障の原因になります。
 モータ冷却用通風口はふさがないこと。 加熱による異常及び発火の原因になります。	 モータ冷却用通風口をふさいで長時間運転しないこと。 加熱による異常及び発火の原因になります。
 運転中、本体を大きくゆすったり、衝撃を加えたりしないこと。 破損の原因になります。	 差し込みプラグを抜くときには、コードを持たずに必ず先端の差し込みプラグを持って引き抜くこと。 感電やショートして発火することがあります。 
 コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないこと。また、重いものを載せたり、挟み込んだりしないこと。 コードが破損し、火災、感電の原因になります。	 コード、差し込みプラグが傷んだりコンセントの差し込みがゆるいときは使用しないこと。 感電やショートして発火することがあります。
 コンセントに差し込んだ差し込みプラグの周囲に綿ほこりや湿気などがいないこと。 トラッキング現象による火災の原因になります。	 使用時以外は差し込みプラグをコンセントから抜くこと。 けがややけど、絶縁劣化による感電、漏電、火災の原因になります。
 電源コードを引っ張らないこと。 コードが破損し、火災、感電の原因になります。	

各部の名称と特長

※本機は、モップ糸長25mm以下のフラットモップ専用の除塵機です。

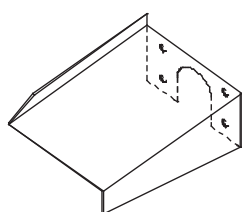
1. 本体

- ①メインユニット
- ②サイドテーブル(左)
 - ・モップを水平に保つためのテーブルです。
- ③サイドテーブル(右)
 - ・モップを水平に保つためのテーブルです。
- ④回転ブラシ
 - ・モップに付着したごみを除去させます。
- ⑤ダストボックス
 - ・除去されたごみが溜まります。
- ⑥モップガイド
 - ・回転ブラシからのモップズレ防止ガイドです。
- ⑦電源スイッチ
 - ・電源の入、切を行ないます。
- ⑧電流ヒューズ
 - ・安全装置です。
- ⑨電源コード
- ⑩掃除機接続口
 - ・お持ちの掃除機曲がり管を差し込み粉塵を吸引させます。

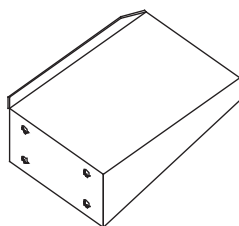


2. 付属品

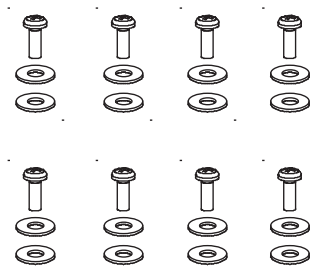
※下記の付属品はダストボックスに入っています。(取扱説明書は梱包ケース内に入っています。)



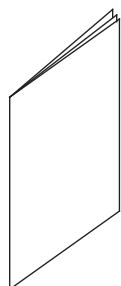
サイドテーブル(左)
(1個)



サイドテーブル(右)
(1個)



サイドテーブル取付けねじ類
(8セット)



取扱説明書
(1部)

⚠ 運転時の注意

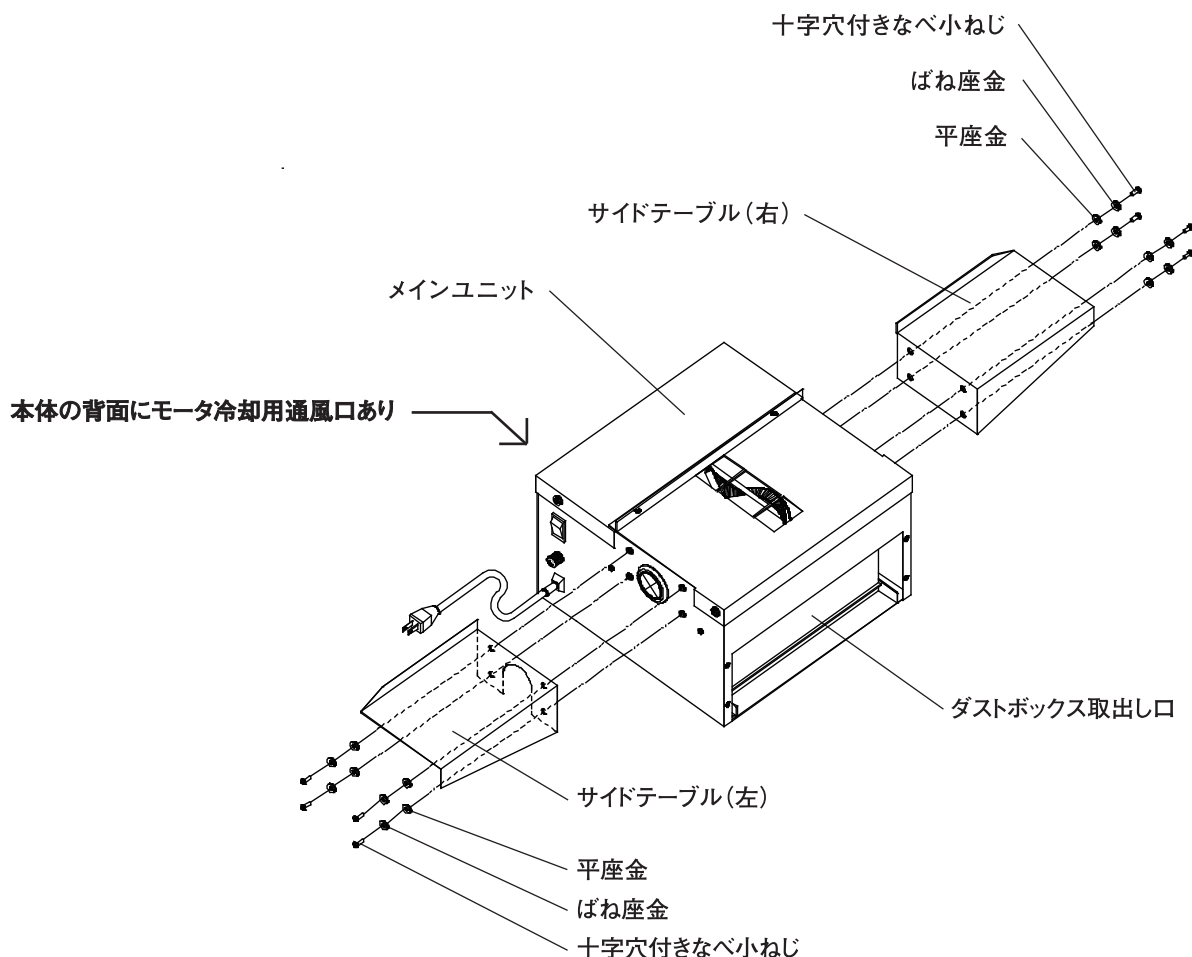
- 水などのかかる場所では絶対に使用しないこと。
- 本来の目的以外の用途に使用しないこと。
- モップ糸長 25mm 以下のフラットモップを使用すること。
(回転ブラシに巻付きモーター故障の原因になります。)
- ブラシ回転中に回転部分に手を触れないこと。
- モーター冷却用通風口は、ふさがないこと。
- コード、差し込みプラグが傷んだりコンセントの差し込みがゆるいときは使用しないこと。
- 運転中、本体を大きくゆすったり、衝撃を加えたり、本体に座ったりしないこと。
- 電源コードを引っ張らないこと。

1. 準備

(1) メインユニットの左右両側にサイドテーブル(左右)を取付けてください。

- ① サイドテーブル(左右)、取付けねじ一式は、ダストボックス内に入っています。
- ② サイドテーブル(左)を取付けます。(取付け面にU型切欠きがある方です)。
 - ・取付けねじにばね座金、平座金の順に通してください。(4本同じように通してください。)
 - ・取付けねじを左右上下4箇所仮締めします。
 - ・取付けねじ4箇所をプラスドライバーで締め付けてください。
※強く締め付けるとカシメナットが空回りしますのでご注意ください。
- ③ サイドテーブル(右)を取付けます。
 - ・サイドテーブル(左)と同じように取付けてください。

(2) メインユニット背面のモーター冷却用通風口をふさがないように、壁から約30cm程度離して本体を設置してください。



2. 使用方法

(1) 差し込みプラグをコンセントに差し込んでください。

(注意)

電源は必ず単相交流100V(50/60Hz)をご使用ください。
他の電源を使用しますと火災、感電、故障の原因になります。

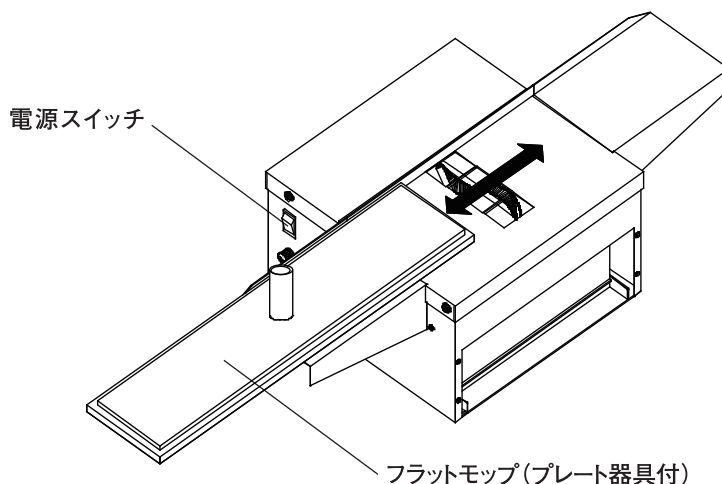


(2) 電源スイッチを入れて作業を開始してください。

電源スイッチは、メインユニット左側面にあります。

(3) 下図のようにフラットモップ(プレート器具付)を矢印方向に往復させて付着したごみを除去してください。

(注意) 本体の上に座ったり、過度な荷重を掛けしないでください。本体の変形、破損の原因になります。



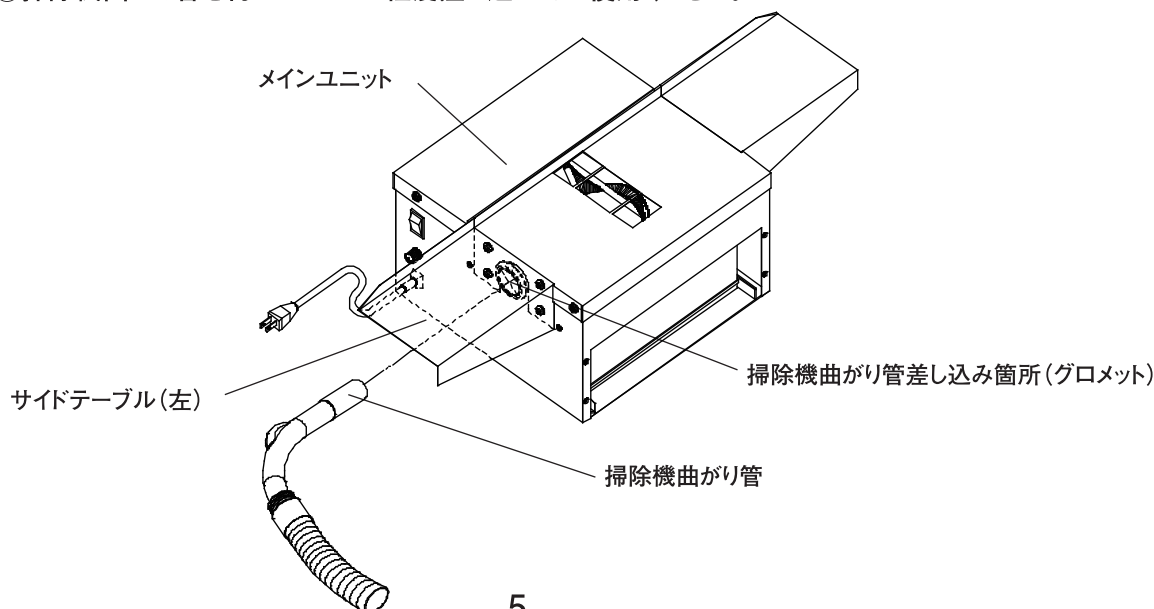
※フラットモップを湿式でご使用される方

・フラットモップの湿り具合は、洗濯機で脱水した程度の物をご使用してください。

※粉塵の飛散が気になる方

・お持ちの掃除機を下図メインユニット左側面(サイドテーブル(左)下)の差し込み口に掃除機の曲がり管を差し込み吸引してください。

- ① サイドテーブル(左)下側の曲がり管差し込み箇所にお持ちの掃除機曲がり管を差し込んでください。
- ② 掃除機曲がり管の先端は丸形形状のものをご使用ください。
- ③ 掃除機曲がり管の先端直径は約40mmのものまで差し込めます。
- ④ 掃除機曲がり管を約70～80mm程度差し込んでご使用ください。



ごみの捨て方

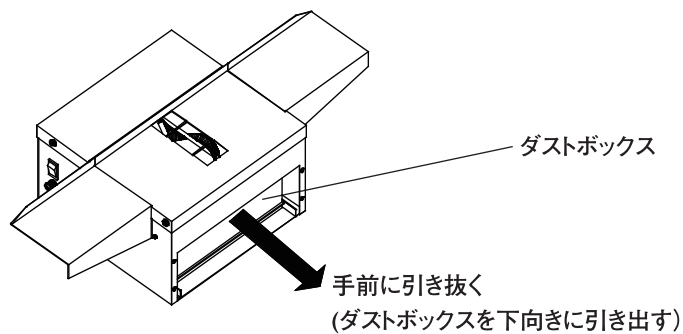
(1) 差し込みプラグをコンセントから抜いてください。

(注意)

- ・差し込みプラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の差し込みプラグを持って抜いてください。
- ・断線の原因になります。

(2) 下図の矢印方向にダストボックスを手前側に引き抜いてごみを捨ててください。

※ダストボックスを引き出す場合は、少し下向きに引き出してください。



保守・管理



お手入れの際は、必ず差し込みプラグをコンセントから抜く。
その場合は、濡れた手で抜き差ししない。

1. メインユニット及びサイドテーブルのお手入れ

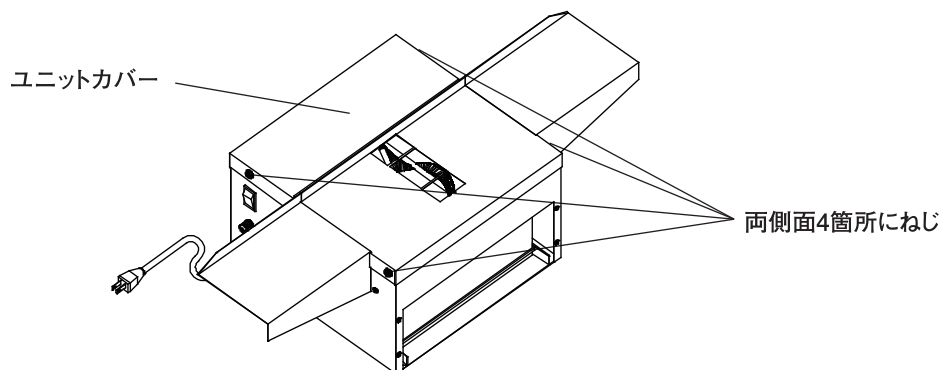
(1) 表面の汚れは、雑巾に中性洗剤をふくませて拭いてください。

(注意)

- ・絶対に直接水を掛けないでください。

(2) 定期的に期間を決めてメインユニット庫内の埃などを取り除いてください。

- ・ユニットカバー両側面の4箇所のねじをプラスドライバーで外してください。
- ・ユニットカバーを持ち上げて外してください。
- ・メインユニット庫内の埃などを取り除いてください。
- ・ユニットカバーを元のように取付けてください。



2. 作業終了後や長期間保管される場合は、風通しの良い湿気の少ない
屋内に保管してください。

消耗部品

●下記は、消耗部品です。

部 品 名	数 量
回転ブラシユニット	1ユニット
掃除機差し込み用グロメット	1個
駆動ベルト	1本
電流ヒューズ	1本

※お買い求めの販売店、または弊社カスタマーサービスセンターにお問い合わせください。

※回転ブラシユニット及び電流ヒューズの交換方法は8頁を参照してください。

故障かな?と思ったら

■こんなときは? 次のチェックをしてください。

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、下表の点検をしていただき、それでも正常に戻らない場合は、ご自分で修理されないで、お買い求めの販売店、または弊社カスタマーサービスセンターにご相談ください。

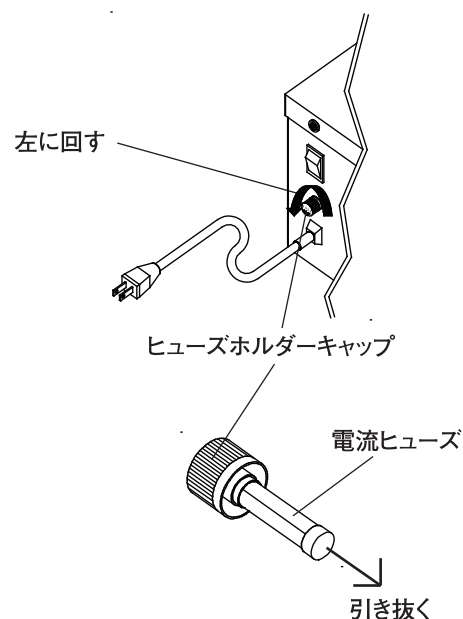
●点検の前には必ず電源スイッチを切り、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。

こんなときは	点検と修理方法
モータが回らない 又は 回転ブラシが回らない	差し込みプラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。 差し込みプラグをしっかりとコンセントに差し込んでください。
	モータ内蔵のサーマルプロテクタ(温度保護装置)が作動していませんか。 差し込みプラグをコンセントから抜いてモータの過熱原因を調べてください。 モータの過熱原因を取り除き、モータが冷めるまでお待ちください。
	電源コードが断線していませんか。 差し込みプラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店、または弊社カスタマーサービスセンターにご相談ください。
	駆動ベルトが外れていませんか、又は、切れていませんか。 駆動ベルトを掛け直してください、又は駆動ベルトを交換してください。
	電流ヒューズが切れていませんか。 差し込みプラグをコンセントから抜いて電流ヒューズが切れた原因を調べてください。 ヒューズが切れた原因を取り除き、電流ヒューズを交換してください。
	使用現場のブレーカが切れていませんか。 コンセントまで電源が来ているか確認してください。
	モップを押え付けていませんか。 モップを押え付ける力を弱めてください。 モップ糸長が長いフラットモップを使用していませんか。 モップ糸長25mm以下のフラットモップを使用してください。
異音がする	回転ブラシに異物が絡まっていますか。 異物を取り除いてください。 軸受けが寿命の可能性あります。 回転ブラシユニットを新品と交換してください。

故障かな?と思ったら(つづき)

■電流ヒューズの交換方法

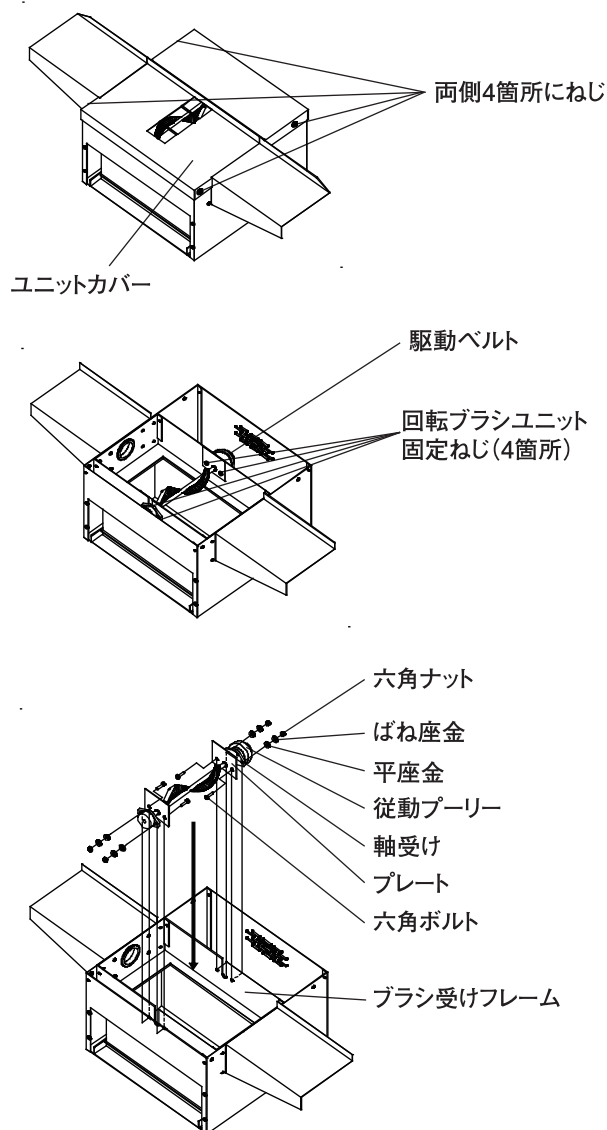
- (1) ヒューズホルダーキャップを矢印方向の左に回して、はずしてください。
- (注意)
ヒューズホルダーキャップに電流ヒューズが挿入されています。
- (2) ヒューズホルダーキャップに付いている電流ヒューズを抜き取って、新しい電流ヒューズを差し込んでください。
※電流ヒューズ: 2A (寸法: $\phi 6.4\text{mm} \times 30\text{mm}$)
- (3) 新しい電流ヒューズとの交換が終われば逆の手順でヒューズホルダーキャップを取付けてください。



■回転ブラシユニットの交換方法

下記の手順に従って交換してください。

- (1) ユニットカバー両側4箇所のねじをプラスドライバーで外してください。
- (2) ユニットカバーを持上げて外してください。
- (3) 駆動ベルト(オレンジ色)を外してください。
- (4) 回転ブラシユニット固定ねじをスパナ(10mm)2本で4箇所外してください。
- (5) 回転ブラシユニットを持上げて外してください。
- (6) 新しい回転ブラシユニットをブラシ受けフレームの内側にプレート、外側に軸受けがくるようにセットしてください。
<ご注意>
 - ・従動プーリーがモータ側にくるようにセットしてください。
 - ・プレートとブラシ受けフレームの上辺が同じ高さになるようにプレート上下を間違わないで取付けてください。
- (7) ブラシ受けフレームの内側から六角ボルトを4箇所差し込んで平座金、ばね座金、六角ナットの順に4箇所を仮締めしてください。
- (8) 4箇所の六角ナットをスパナ(10mm)2本で確実に締め付けてください。
- (9) 最初に取り外したユニットカバーを上から取付けてください。
 - ・取付け方向を間違わないでください。
- (10) ユニットカバー両側4箇所のねじをプラスドライバーで締め付けてください。



仕様及び寸法

■仕様

●本製品は、改良の為予告なく仕様等を変更する場合があります。

定格電圧	AC100V
定格周波数	50Hz / 60Hz
定格消費電力	50Hz:約28W 60Hz:約32W
ブラシ回転数	50Hz:約1,460rpm 60Hz:約1,750rpm
電流ヒューズ	2A (寸法:Φ6.4mm×30mm)
ダストボックス容量	約4.5ℓ
質量(電源コード含む)	約8.3kg
電源コード長さ	約1.7M
寸法(サイドテーブル含む)	約(幅)800×(奥行)363×(高さ)210(mm)
耐荷重	約8kg

安全点検のおすすめ

■長年ご使用の除塵機の安全点検をおすすめします。

ご使用の際、このような症状はありませんか？	ご使用を中止してください。
●電源スイッチを入れても時々運転しないことがある。 ●電源コードを折り曲げると通電したり、しなかったりする。 ●運転中に異常な音や振動がする。 ●メインユニットが変形していたり、異常に熱い。 ●焦げ臭い「におい」がする。 ●その他の異常があるとき。	●このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源スイッチを切り、差し込みプラグをコンセントから抜いて必ずお買い求めの販売店または弊社カスタマーサービスセンターに点検・修理をご相談してください。

アフターサービス

■保証について

- この製品は保証書付きです。
- 保証書は販売店で所定事項を記入してお渡しいたします。後々のため、記載内容をご確認いただき大切に保管してください。
- 保証期間はご購入の日から6ヶ月間です。なお保証期間中でも有料になることがありますので保証書をよくお読みください。
- 保証期間終了後の修理につきましては、販売店または弊社カスタマーサービスセンターにご相談ください。修理により機能が維持できる場合は、お客様の要望により有料修理いたします。
- ご不明な点は、お買い求めの販売店または弊社カスタマーサービスセンターにお問い合わせください。

■部品の保有期間について

- 除塵機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後6年です。
- 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

除塵機

保 証 書

(製品No.は本体ラベル記載のNo.を転記してください。)

製品No. _____

形 式 101 _____

お買上げ年月日

年 月 日 _____

お買上げ日より、6カ月間品質を保証いたします。
保証期間中の故障修理は無償にて修理いたします。
但し、保証期間中でも天災及び誤った取扱いによる
故障と損傷については、実費を申しあげます。



山崎産業株式会社

第二営業本部 〒136-0075 東京都江東区新砂 1-13-5
山崎産業東京総合センタービル 4F
TEL (03) 5677-3402

商品に関するお問い合わせ

カスタマーサービスセンター

☎ フリーコール 0120-941-239

FAX 03-5677-3406

(9:00~12:00 13:00~17:00

但し、土・日・祝日を除く)

ホームページ www.yamazaki-sangyo.co.jp

